

無垢のバイン材で作る木製キッチンコーナーはオーダーで実現。



- a 玄関を入ると、木の家ならではの木組みの柱や梁が見える。
- b 吹き抜けと書斎のロフト空間が気持ちよいリビング。小上りの和室コーナーは有機栽培の畳とわら入り珪藻土仕上げ。
- c 素材を統一するために道産のトドマツを組み上げた階段。

有限会社 ビオプラス西條デザイン
 本社：
 〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581
 伊達支店：
 〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139

資料請求番号 11

くわしい企業情報は「北海道ビルダーINDEX」をご覧ください。

BIOPLUS SAIJO DESIGN

ビオプラス西條デザイン



カラマツを木酢液漬にした板と、道南杉のオイルステイン仕上げの外観。



札幌市 M邸
 工法/在来工法
 標準工期/120日
 プラン/フリープラン

Photo:GINO PHOTO WORKS

自然素材たっぷりのナチュラルハウスに住む。

赤ちゃんの誕生にあわせて、子どもたちに化学物質の影響が少ない、自然素材でつくった健康的な家がほしい。そんな思いで住まいづくりがはじまった。

構造材から断熱材まで自然素材にこだわって、接着剤や合板を使わない住まいづくりを当たり前のようにこなせるビルダーを探すのは大変だった。(有)ビオプラス西條デザインはナチュラルハウスのみを専門とする数少ないアーキテクトビルダーで、設計から施工まで丁寧な仕事で、自然素材をたっぷり使い、軒一軒手づくりしていることで注目を集めている。

履歴の分かる北海道産のエゾマツやトドマツの無垢材を構造材に選び、仕上げの枠材や建具にも使用。6寸の太い大黒柱が家をしっかりと支えている。北海道産の珪藻土の塗り壁材と、土佐和紙の天井仕上げ。地域の古紙を回収し再生させたセルロースファイバーの断熱材など、家を構成する大部分がローカルマテリアルの自然素材だ。また、ロジボールバインの厚板を使った踏み天井のフロアのやわらかな質感も心地よい。

木酢液に2晩漬けたカラマツと、オイルステインで仕上げた道南杉の下見板貼り仕上げの外装も表情豊かである。

ノンケミカルで合板も使わず、接着剤も最小限に抑えたナチュラルハウスは、環境にも家族にもリスクの少ない暮らしと、五感で自然素材のやさしさを存分に味わえる快適な住まいとなった。